

専門科目 産業環境保健学

(専門職学位課程)

科目名	産業環境保健学概論	code number : OEH 201	必修	1 単位
-----	-----------	--------------------------	----	------

科目責任者	福田 吉治 教授						
配当年次	1年次	配当学期	前期(前半)	曜日・時限	火曜 1時限	授業方法	講義

1. 授業の概要

産業保健の対象は5千万労働者であり、公衆衛生の個別領域としては最も大きな集団を対象とすることになる。50人以上の事業所全てに義務づけられた産業医制度をはじめ各種の職域健診制度により、産業保健学は、それを専門としない者も含め多くの医師や公衆衛生専門職にとって学ぶ必要のある領域である。そこで必ずしも産業保健を専門としない公衆衛生の実務家のために、基本的な産業保健の制度、法、組織等の概要を学ぶ必要がある。また、環境保健学とは、様々な環境中の有害要因による健康影響を制御して健康を保つことを目的としている。環境問題とそのマネジメントを俯瞰しつつ、環境からの有害影響別に対策とともに詳しく理解する必要がある。

後期の選択科目である産業保健学および環境保健学の基礎的部分について、各担当教員が包括的に解説する。より専門的・実践的には、夏期および後期開講の選択科目の「産業保健学」、「環境保健学」および「産業環境保健学実習」等で学ぶ。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

公衆衛生の5領域のひとつである産業環境保健学について、関連する健康障害の原因・機序・対策等、国内外の取組や制度、今日の課題などの知識を見につける。

【行動目標(SBO)】

1. 環境要因が人・集団に与える健康障害についてを説明できる。
2. 産業保健に関連した有害要因と健康障害の関係について説明できる。
3. 産業保健の基本的な施策および5管理(作業環境管理、作業管理、健康管理、健康教育、総括管理)を説明できる。
4. 国内外における今日の主要な環境問題とその対策について説明できる。

(1) レポート(60%)

(2) 議論への参加(40%)

注) レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。出席点による加点は行わないが、欠席・遅刻は減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

・毎回授業開始時に資料として配布する。

5. 参考書

・中央労働災害防止協会: 労働衛生のしおり、中央労働災害防止協会 (毎年出版)

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・中央労働災害防止協会の『労働衛生のしおり』の第III章・最近の労働衛生対策の展開の部分に事前に目を通しておく。
- ・前回までに学んだ5管理からなる産業保健の内容を復習し、当日の講義のキーワードについての予習が望まれる。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・レポートに対し、講義の中あるいは個別に解説等のフィードバックを行い、再提出を求める場合がある。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

産業環境保健学概論

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	4/16(火)	1	福田 吉治 教授	産業環境保健学総論 労働安全衛生法令、5管理、環境保健、産業保健専門職
2	4/23(火)	1	福田 吉治 教授	総括管理 産業医による産業保健、労働安全衛生マネジメントシステム
3	5/7(火)	1	津田 洋子 講師	作業環境管理 作業環境管理の考え方、作業環境測定、作業環境改善
4	5/14(火)	1	津田 洋子 講師	環境測定 簡易測定器による測定と評価
5	5/21(火)	1	津田 洋子 講師	作業管理 作業管理の考え方と実際、人間工学
6	5/28(火)	1	福田 吉治 教授	健康管理・健康教育 健康診断、健康保持増進、快適職場、健康経営
7	6/4(火)	1	福田 吉治 教授	産業保健の今日的課題 メンタルヘルス、過重労働対策、働き方対策、非正規労働
8	6/11(火)	1	津田 洋子 講師	環境保健 環境要因が生態系全体へもたらす影響、公害対策、環境リスク学、健康影響評価(HIA)、ヒト/動物への健康影響・One Health